

第4回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン  
環境サステナブル企業部門 金賞

## 味の素株式会社



※ 開示媒体及び情報は受賞時点の内容です。

### 受賞理由

- 強力なリーダーシップの下、サステナビリティの観点で企業価値向上を追求していく独自のガバナンス体制が敷かれており、各環境課題に対するリスク・機会が整理されているだけでなく、サプライチェーンの各プロセスが抱える問題を整理した上で課題解決に臨んでいる姿勢を高く評価する。
- 環境負荷低減に向けスコープ別にアクションプランを明確にし、プラスチック使用量削減などに取り組んでいることも評価できる。

### 高評価のポイント

#### 【環境負荷50%削減へのアプローチと指標・目標】

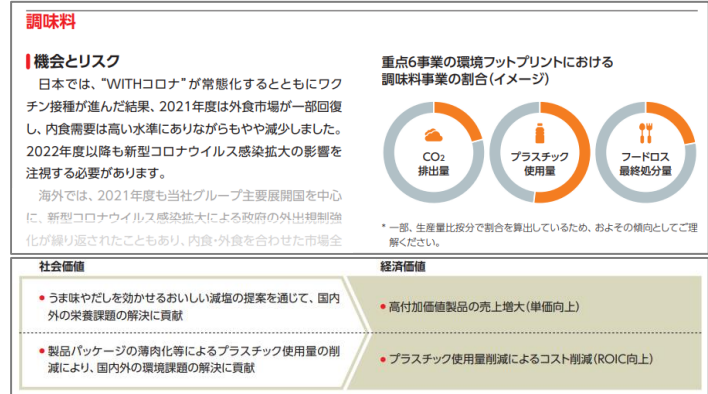
2030年までに「環境負荷の50%削減」と「10億人の健康寿命を延伸」の両立実現をASV経営のアウトカムに掲げ、特に関係の深いマテリアリティ項目について中長期的な目標とKPIを設定し、主な施策を分かりやすく一覧化。GHG排出量、プラスチック使用量、フードロス削減のKPIは、グループ全体の進捗はもちろん、重点6事業の環境フットプリントにおける各事業の割合イメージも提示。実現すべき社会価値を裏付けるとともに、経済価値とのつながりも示している。

#### 【ASV実現度を測る従業員エンゲージメント】

ASV成果創出のマネジメントサイクル(2021年度実績)



(出所) ASVレポート2022, p.32



(出所) ASVレポート2022, p.65 (一部加工)

ASVの実現度を測る指標に従業員エンゲージメントスコアをKPIに設定し、経営層が積極的に対話。加えて、ASV実現プロセスを可視化し、エンゲージメント調査で進捗をモニタリング。成果創出との関係も分析。

### 選定委員のコメント

JPモルガン・アセット・マネジメント(株)  
近江 静子



- ASVの実現の担い手である従業員のエンゲージメントを一層重視し、モチベーションを高めるためにASV実現プロセスのモニタリングも始めるなど、継続的に工夫していることも注目し値します。
- 経営層インタビューではグリーンイノベーションに積極的に取り組んでいることが説得力を持って説明されました。
- 気候変動やサーキュラーエコノミーを中心に指標・目標も含めて情報開示されており、環境課題の解決を自社の企業価値向上に繋げる共通価値の創造が図られている点は、他社の模範と言えるでしょう。